

令和7年度

年間授業計画

第二学年



東京都立大島高等学校

〒100-0101
東京都大島町元町字八重の水127

TEL:04992 (2) 1431

FAX:04992 (2) 2461

高等学校 令和7年度(2学年用) 教科 国語 科目 古典探究

教科: 国語 科目: 古典探究 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年 2 組～ 3 組

教科担当者: (A組: 下川 (B組: 栗山 (C組: 市川

使用教科書: (古典探究)

教科 国語 の目標:

【知識及び技能】伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】文章や状況に応じて、適切に読む書く聞く話す力を活用し、共有する。

【学びに向かう力、人間性等】伝え合う力を高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語力向上と文化への理解を図る。

科目 古典探究 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付ける。	文章や状況に応じて、適切に読む書く聞く話す力を活用し、共有する。	伝え合う力を高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語力向上と文化への理解を図る。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話	書	読					
1 学 期	宇治拾遺物語(検非違使忠明) 【知識及び技能】 背景含意等本文理解の深化 【思考力、判断力、表現力等】 文化風習言語への考えを述べる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に課題に取り組む	・指導事項 読解内容を地図を用いて説明する。 動詞形容詞への理解を深める。 ・教材 教科書、ノート、ワーク等 ・その他 ICT教材による視覚的情報共有	○	○	背景含意等本文理解の深化 についてA十分良い B概ね良い C要努力 文化風習言語への考えを述べる についてA十分良い B概ね良い C要努力 意欲的に課題に取り組む についてA十分良い B概ね良い C要努力	○	○	○	26
	十訓抄(大江山いくの道) 【知識及び技能】 背景含意等本文理解の深化 【思考力、判断力、表現力等】 文化風習言語への考えを述べる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に課題に取り組む	・指導事項 和歌の内容と修辭法の効果を理解し 説明する。品詞分解を知り、理解を 深める。 ・教材 教科書、ノート、ワーク等 ・その他 ICT教材による視覚的情報共有	○	○	背景含意等本文理解の深化 についてA十分良い B概ね良い C要努力 文化風習言語への考えを述べる についてA十分良い B概ね良い C要努力 意欲的に課題に取り組む についてA十分良い B概ね良い C要努力	○	○	○	
	定期考査		○			○	○		
	故事・逸話(知音) 【知識及び技能】 背景含意等本文理解の深化 【思考力、判断力、表現力等】 文化風習言語への考えを述べる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に課題に取り組む	・指導事項 登場人物の行動心情や比喩表現を理 解し説明する。漢文訓読への理解を 深める。 ・教材 教科書、ノート、ワーク等 ・その他 ICT教材による視覚的情報共有	○	○	背景含意等本文理解の深化 についてA十分良い B概ね良い C要努力 文化風習言語への考えを述べる についてA十分良い B概ね良い C要努力 意欲的に課題に取り組む についてA十分良い B概ね良い C要努力	○	○	○	
	漱石枕流 【知識及び技能】 背景含意等本文理解の深化 【思考力、判断力、表現力等】 文化風習言語への考えを述べる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に課題に取り組む	・指導事項 筆者の主張と無常観を理解し説明す る。読解内容を地図を用いて説明す る。 ・教材 教科書、ノート、ワーク等 ・その他 ICT教材による視覚的情報共有	○	○	背景含意等本文理解の深化 についてA十分良い B概ね良い C要努力 文化風習言語への考えを述べる についてA十分良い B概ね良い C要努力 意欲的に課題に取り組む についてA十分良い B概ね良い C要努力	○	○	○	
	定期考査		○			○	○		
2 学 期	枕草子(中納言参りたまひて) 【知識及び技能】 背景含意等本文理解の深化 【思考力、判断力、表現力等】 文化風習言語への考えを述べる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に課題に取り組む	・指導事項 物語の特色を理解させる。読解内容 を踏まえて、敬語を現代語訳する。 ・教材 教科書、ノート、ワーク等 ・その他 ICT教材による視覚的情報共有	○	○	背景含意等本文理解の深化 についてA十分良い B概ね良い C要努力 文化風習言語への考えを述べる についてA十分良い B概ね良い C要努力 意欲的に課題に取り組む についてA十分良い B概ね良い C要努力		1		26
	源氏物語・史伝 鴻門の会 【知識及び技能】 背景含意等本文理解の深化 【思考力、判断力、表現力等】 文化風習言語への考えを述べる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に課題に取り組む	・指導事項 登場人物の行動心情や比喩表現を理 解し説明する。漢文訓読への理解を 深める。 ・教材 教科書、ノート、ワーク等 ・その他 ICT教材による視覚的情報共有	○	○	背景含意等本文理解の深化 についてA十分良い B概ね良い C要努力 文化風習言語への考えを述べる についてA十分良い B概ね良い C要努力 意欲的に課題に取り組む についてA十分良い B概ね良い C要努力				
3 学 期	史伝 樊噲目を怒らして 【知識及び技能】 背景含意等本文理解の深化 【思考力、判断力、表現力等】 文化風習言語への考えを述べる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に課題に取り組む	・指導事項 登場人物の行動心情や敬語表現を理 解し説明する。物語文学への理解を 深める。 ・教材 教科書、ノート、ワーク等 ・その他 ICT教材による視覚的情報共有	○	○	背景含意等本文理解の深化 についてA十分良い B概ね良い C要努力 文化風習言語への考えを述べる についてA十分良い B概ね良い C要努力 意欲的に課題に取り組む についてA十分良い B概ね良い C要努力				18
	更級日記 【知識及び技能】 背景含意等本文理解の深化 【思考力、判断力、表現力等】 文化風習言語への考えを述べる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に課題に取り組む	・指導事項 登場人物の行動心情や敬語表現を理 解し説明する。日記文学への理解を 深める。 ・教材 教科書、ノート、ワーク等 ・その他 ICT教材による視覚的情報共有	○	○	背景含意等本文理解の深化 についてA十分良い B概ね良い C要努力 文化風習言語への考えを述べる についてA十分良い B概ね良い C要努力 意欲的に課題に取り組む についてA十分良い B概ね良い C要努力				
									合計
									70

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和7年度（2学年用）教科 国語 科目 論理国語

教科： 国語 科目： 論理国語 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 2 組～ 3 組

教科担当者：（ 2組：市川 （ 2組：市川

使用教科書：（ 論理国語

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】文章や状況に応じて、適切に読む書く聞く話す力を活用し、共有する。

【学びに向かう力、人間性等】伝え合う力を高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語力向上と文化への理解を図る。

科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付ける。	文章や状況に応じて、適切に読む書く聞く話す力を活用し、共有する。	伝え合う力を高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語力向上と文化への理解を図る。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		語	書	読					
1 学 期	世界を広げる「批評」の言葉 【知識及び技能】 背景含意等本文理解の深化 【思考力、判断力、表現力等】 評価賛否提案等考えを述べる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に課題に取り組む	・指導事項 筆者の主張する「書く、読む」力を理解する。筆者の考える批評を理解する。 ・教材 教科書、ノート、ワーク等 ・その他 ICT教材による視覚的情報共有	○	○	背景含意等本文理解の深化についてA十分良い B概ね良い C要努力 評価賛否提案等考えを述べるについてA十分良い B概ね良い C要努力 意欲的に課題に取り組むについてA十分良い B概ね良い C要努力	○	○	○	26
	ミロのヴィーナス 【知識及び技能】 背景含意等本文理解の深化 【思考力、判断力、表現力等】 疑問点不明点を調査する 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に課題に取り組む	・指導事項 筆者の主張する「手」が暗示するものを理解する。この像が手を失うことの意味を理解する。 ・教材 教科書、ノート、ワーク等 ・その他 ICT教材による視覚的情報共有	○	○	背景含意等本文理解の深化についてA十分良い B概ね良い C要努力 疑問点不明点を調査するについてA十分良い B概ね良い C要努力 意欲的に課題に取り組むについてA十分良い B概ね良い C要努力	○	○	○	
	定期考査					○	○		
	家族化するベット 【知識及び技能】 背景含意等本文理解の深化 【思考力、判断力、表現力等】 主張根拠の妥当性を考える 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に課題に取り組む	・指導事項 教科書のグラフを読み取り、推移を理解し、言語化する。筆者の主張を理解する。 ・教材 教科書、ノート、ワーク等 ・その他 ICT教材による視覚的情報共有	○	○	背景含意等本文理解の深化についてA十分良い B概ね良い C要努力 主張根拠の妥当性を考えるについてA十分良い B概ね良い C要努力 意欲的に課題に取り組むについてA十分良い B概ね良い C要努力	○	○	○	
	人工知能の可能性と畏 【知識及び技能】 背景含意等本文理解の深化 【思考力、判断力、表現力等】 評価賛否提案等考えを述べる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に課題に取り組む	・指導事項 客観的認識は原理的にあり得ないのなぜか説明できる。人間の定義を話し合う。 ・教材 教科書、ノート、ワーク等 ・その他 ICT教材による視覚的情報共有	○	○	背景含意等本文理解の深化についてA十分良い B概ね良い C要努力 評価賛否提案等考えを述べるについてA十分良い B概ね良い C要努力 意欲的に課題に取り組むについてA十分良い B概ね良い C要努力	○	○	○	
2 学 期	敬語への自覚、他者への自覚 【知識及び技能】 背景含意等本文理解の深化 【思考力、判断力、表現力等】 資料と比較し考えを深める 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に課題に取り組む	・指導事項 「若者言葉」「特殊な方言」の例を話し合う。グラフから読み取ったことを文章化する。 ・教材 教科書、ノート、ワーク等 ・その他 ICT教材による視覚的情報共有	○	○	背景含意等本文理解の深化についてA十分良い B概ね良い C要努力 資料と比較し考えを深めるについてA十分良い B概ね良い C要努力 意欲的に課題に取り組むについてA十分良い B概ね良い C要努力	○	○	○	26
	スキーマと記憶 【知識及び技能】 背景含意等本文理解の深化 【思考力、判断力、表現力等】 評価賛否提案等考えを述べる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に課題に取り組む	・指導事項 本文中のあるグループについて、存在意義を考え、説明する。 ・教材 教科書、ノート、ワーク等 ・その他 ICT教材による視覚的情報共有	○	○	背景含意等本文理解の深化についてA十分良い B概ね良い C要努力 評価賛否提案等考えを述べるについてA十分良い B概ね良い C要努力 意欲的に課題に取り組むについてA十分良い B概ね良い C要努力	○	○	○	
	分かち合う社会 【知識及び技能】 背景含意等本文理解の深化 【思考力、判断力、表現力等】 評価賛否提案等考えを述べる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に課題に取り組む	・指導事項 本文中のあるグループについて、存在意義を考え、説明する。 ・教材 教科書、ノート、ワーク等 ・その他 ICT教材による視覚的情報共有	○	○	背景含意等本文理解の深化についてA十分良い B概ね良い C要努力 評価賛否提案等考えを述べるについてA十分良い B概ね良い C要努力 意欲的に課題に取り組むについてA十分良い B概ね良い C要努力	○	○	○	
3 学 期	世界は、いま 【知識及び技能】 背景含意等本文理解の深化 【思考力、判断力、表現力等】 評価賛否提案等考えを述べる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に課題に取り組む	・指導事項 調べ学習と発表を通して考えたことをもとに、グローバル化について話し合う。 ・教材 教科書、ノート、ワーク等 ・その他 ICT教材による視覚的情報共有	○	○	背景含意等本文理解の深化についてA十分良い B概ね良い C要努力 評価賛否提案等考えを述べるについてA十分良い B概ね良い C要努力 意欲的に課題に取り組むについてA十分良い B概ね良い C要努力	○	○	○	18
	コミュニティから見た日本 【知識及び技能】 背景含意等本文理解の深化 【思考力、判断力、表現力等】 評価賛否提案等考えを述べる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に課題に取り組む	・指導事項 調べ学習と発表を通して考えたことをもとに、グローバル化について話し合う。 ・教材 教科書、ノート、ワーク等 ・その他 ICT教材による視覚的情報共有	○	○	背景含意等本文理解の深化についてA十分良い B概ね良い C要努力 評価賛否提案等考えを述べるについてA十分良い B概ね良い C要努力 意欲的に課題に取り組むについてA十分良い B概ね良い C要努力	○	○	○	
									合計
									70

年間授業計画

高等学校 令和7年度（2学年用）教科 地理歴史 科目 地理探究

教科：地理歴史 科目：地理探究 単位数：2 単位
 対象学年級：第2学年 2組・3組
 教科担当者：（2・3組：山根）（組：）（組：）（組：）（組：）
 使用教科書：（帝国書院 新詳 地理探究 帝国書院 標準高等地図）
 教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関与して理解するとともに、調査や資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関する事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて探求したりする力や、考察、推察などを行う力、それらを基に議論したりする力等を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関する事象について、よりよい社会の実現を課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的に考察や深い理解を通して調査される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関する事象に関して、世界の空間的な事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地理や歴史に関する事象について、調査や資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関する事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて探求したりする力や、考察、推察などを行う力、それらを基に議論したりする力等を養う。	地理に関する事象について、よりよい社会の実現を課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的に考察や深い理解を通して調査される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	感	担当 時数
1 学 期	<p>【知識及び技能】</p> <p>1節 現代世界の系統地理的考察</p> <p>1節 自然環境</p> <p>2節 地球環境と人間</p> <p>1節 地形</p> <p>1節 地形の成因と地球表面の起伏</p> <p>2節 地球環境の大地形</p> <p>3 河川流域と海岸にみられる小地形</p> <p>4 そのほかの特徴的な小地形</p>	<p>【知】地形、気候、生態系などに関する諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。</p> <p>【思】地形、気候、生態系などに関する諸事象について、場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【感】自然環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>				12
	<p>【知識及び技能】</p> <p>2節 日本の自然環境</p> <p>1節 日本の地形</p> <p>2節 日本の気候</p> <p>3 開発に伴う災害と防災・減災の取り組み</p> <p>4 地球環境問題</p> <p>5 さまざまな地球環境問題</p> <p>6 地球環境問題の解決に向けた取り組み</p>	<p>【知】地形、気候、生態系などに関する諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。</p> <p>【思】地形、気候、生態系などに関する諸事象について、場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【感】自然環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>				1
2 学 期	<p>2節 資源と産業</p> <p>1節 農林水産業</p> <p>2 農業の発達と分布</p> <p>3 農業と地域区分</p> <p>4 日本の農業の現状と課題</p> <p>5 世界と日本の水産業</p> <p>6 日本の食料問題</p> <p>7 日本の食料問題</p> <p>8 エネルギー・鉱産資源</p> <p>9 エネルギー源の種類と利用</p> <p>10 化石燃料の分布と利用</p> <p>11 電力の利用</p> <p>12 産業資源の種類と利用</p> <p>13 資源・エネルギー問題</p> <p>14 資源・エネルギーをめぐる課題</p> <p>15 日本の資源・エネルギー問題</p>	<p>【知】資源・エネルギーや農業、工業などに関する諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、資源・エネルギー、食料問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。</p> <p>【思】資源・エネルギーや農業、工業などに関する諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【感】資源、産業について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>				12
	<p>5節 工業</p> <p>1節 工業の発達と種類</p> <p>2 工業の立地</p> <p>3 世界の工業地帯</p> <p>4 現代世界の工業の現状と課題</p> <p>5 工業の知識産業化とスタートアップ企業</p> <p>6 日本の工業</p> <p>7 第3次産業</p> <p>8 経済発展と第3次産業</p> <p>9 商業の現状と変化</p> <p>10 商業以外のさまざまな第3次産業</p>	<p>【知】農業や工業などに関する諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、食料問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。</p> <p>【思】農業や工業などに関する諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【感】資源、産業について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>				1
3 学 期	<p>3節 交通・通信と観光</p> <p>1節 交通・通信</p> <p>2 世界を結ぶ交通</p> <p>3 日本の交通の特徴</p> <p>4 観光</p> <p>5 余暇の拡大と観光産業</p> <p>6 日本の観光とその変化</p> <p>7 貿易と経済圏</p> <p>8 世界の貿易と地域間格差</p> <p>9 貿易の自由化と経済連携</p> <p>10 日本の貿易</p>	<p>【知】人口、都市・村落などに関する諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、人口、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。</p> <p>【思】人口、都市・村落などに関する諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【感】人口、都市・村落について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>				7
	<p>4節 生活文化、民族・宗教などに関する諸事象</p> <p>1節 人口</p> <p>2 世界の人口</p> <p>3 人口問題</p> <p>4 人口問題</p> <p>5 生活文化、民族・宗教などに関する諸事象</p> <p>6 生活文化、民族・宗教などに関する諸事象</p> <p>7 生活文化、民族・宗教などに関する諸事象</p> <p>8 生活文化、民族・宗教などに関する諸事象</p> <p>9 生活文化、民族・宗教などに関する諸事象</p> <p>10 生活文化、民族・宗教などに関する諸事象</p> <p>11 生活文化、民族・宗教などに関する諸事象</p> <p>12 生活文化、民族・宗教などに関する諸事象</p> <p>13 生活文化、民族・宗教などに関する諸事象</p> <p>14 生活文化、民族・宗教などに関する諸事象</p> <p>15 生活文化、民族・宗教などに関する諸事象</p>	<p>【知】生活文化、民族・宗教などに関する諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、人口、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。</p> <p>【思】生活文化、民族・宗教などに関する諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【感】生活文化、民族・宗教について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>				10
定期考査						1
定期考査						合計
						70

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和7年度（2学年用）教科 地理歴史 科目 日本史探究

教科：地理歴史 科目：日本史探究 単位数：4 単位

対象学年組：第2学年 2組・3組

教科担当：（2・3組：藤田）（組）（組）（組）（組）

使用教科書：（『日本史探究 高校日本史』山川出版社）

教科：地理歴史

【知識及び技能】我が国の歴史の展開に関する歴史的事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的に考えを構築し、歴史資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、そのもとを基礎として考察を行うことができる。

【思考力、判断力、表現力等】歴史的事象を多角的に考察し、歴史的事象の因果関係を適切かつ効果的に調べ、そのもとを基礎として考察を行うことができる。

【学びに向かう力、人間性等】歴史的事象を多角的に考察し、歴史的事象の因果関係を適切かつ効果的に調べ、そのもとを基礎として考察を行うことができる。

科目 日本史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関する歴史的事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的に考えを構築し、歴史資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、そのもとを基礎として考察を行うことができる。	我が国の歴史の展開に関する歴史的事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的に考えを構築し、歴史資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、そのもとを基礎として考察を行うことができる。	我が国の歴史の展開に関する歴史的事象について、よりよい社会の実現を目指すための歴史的事象を適切かつ効果的に調べ、そのもとを基礎として考察を行うことができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	記	担当 時数	
1 学期	原知・古代①	1章 日本文化のあじはりの ・日本文化の発祥 ・農耕の開始	【知】 旧石器文化・縄文文化の「実在性」- 縄文文化の成立と文化の特色を把握する。 【思】 農耕・稲作の開始と食料生産の発展と文化の発展との関係性を考察し、農耕の開始と食料生産の発展と文化の発展との関係性を考察する。 【記】 歴史資料の特性に基づき、資料を通して読み取れる情報から、適切な方法を用いて多角的・多面的に考察し、適切な結論を導き出す。	○	○	○	8
	原知・古代②	2章 古墳とヤマト政権 ・古墳文化の展開 ・古墳の発展	【知】 古墳の形成と古墳文化、古墳時代の成立過程と古墳文化の特色を把握する。 【思】 古墳文化・古墳時代の成立過程、古墳文化の特色と古墳時代の成立過程との関係性を考察し、古墳時代の成立過程と古墳文化の特色との関係性を考察する。 【記】 歴史資料を適切に活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	原知・古代③	3章 律令国家の形成 ・律令国家の成立 ・平安朝の時代 ・律令国家の文化 ・律令国家の変容	【知】 国家の形成と古墳文化、古墳時代の成立過程と古墳文化の特色を把握する。 【思】 古墳文化・古墳時代の成立過程、古墳文化の特色と古墳時代の成立過程との関係性を考察し、古墳時代の成立過程と古墳文化の特色との関係性を考察する。 【記】 歴史資料を適切に活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	○	○	○	10
	原知・古代④	4章 貴族政治の展開 ・院政の始まり ・院政文化 ・荘園の発達と武士団の成長	【知】 貴族政治の展開、文化、地方支配の発達の特色を把握する。 【思】 貴族政治の展開、文化、地方支配の発達の特色と貴族政治の展開との関係性を考察し、貴族政治の展開、文化、地方支配の発達の特色との関係性を考察する。 【記】 歴史資料を適切に活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	○	○	○	10
2 学期	中検①	第5章 院政と武士の進出 ・院政の始まり ・院政と平氏政権	【知】 貴族政治の展開、文化、地方支配の発達の特色を把握する。 【思】 貴族政治の展開、文化、地方支配の発達の特色と貴族政治の展開との関係性を考察し、貴族政治の展開、文化、地方支配の発達の特色との関係性を考察する。 【記】 歴史資料を適切に活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	中検②	第6章 武家政権の成立 ・鎌倉政権の成立と展開 ・モンゴルの襲来と幕府の発達 ・鎌倉文化	【知】 武家政権の成立と展開、幕府の発達、幕府文化の展開と特色を把握する。 【思】 武家政権の成立と展開、幕府の発達、幕府文化の展開と特色と武家政権の成立と展開との関係性を考察し、武家政権の成立と展開、幕府の発達、幕府文化の展開と特色との関係性を考察する。 【記】 歴史資料を適切に活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	○	○	○	16
	中検③	第7章 武家社会の成長 ・室町幕府の成立 ・室町文化 ・戦国の動乱	【知】 武家社会の成長、幕府の発達、幕府文化の展開と特色を把握する。 【思】 武家社会の成長、幕府の発達、幕府文化の展開と特色と武家社会の成長との関係性を考察し、武家社会の成長、幕府の発達、幕府文化の展開と特色との関係性を考察する。 【記】 歴史資料を適切に活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
3 学期	近検①	第8章 近世の幕明け ・天下人の登場 ・幕府政権と戦国文化	【知】 幕府政権の成立と展開、幕府の発達、幕府文化の展開と特色を把握する。 【思】 幕府政権の成立と展開、幕府の発達、幕府文化の展開と特色と幕府政権の成立と展開との関係性を考察し、幕府政権の成立と展開、幕府の発達、幕府文化の展開と特色との関係性を考察する。 【記】 歴史資料を適切に活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	○	○	○	8
	近検②	第9章 幕府体制の成立と展開 ・江戸幕府の成立 ・江戸幕府の外交と文化 ・幕府の安定 ・幕府の発展 ・元禄文化	【知】 幕府体制の成立と展開、幕府の発達、幕府文化の展開と特色を把握する。 【思】 幕府体制の成立と展開、幕府の発達、幕府文化の展開と特色と幕府体制の成立と展開との関係性を考察し、幕府体制の成立と展開、幕府の発達、幕府文化の展開と特色との関係性を考察する。 【記】 歴史資料を適切に活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	○	○	○	12
	近検③	第10章 幕府体制の動揺 ・幕府の改革と天明・天明期の文化 ・江戸幕府の衰退 ・化政文化	【知】 幕府体制の動揺、幕府の衰退、幕府文化の展開と特色を把握する。 【思】 幕府体制の動揺、幕府の衰退、幕府文化の展開と特色と幕府体制の動揺との関係性を考察し、幕府体制の動揺、幕府の衰退、幕府文化の展開と特色との関係性を考察する。 【記】 歴史資料を適切に活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	近現代①	第11章 近世から近代へ ・開国とその影響 ・幕府の滅亡と新政府の発足	【知】 幕府体制の動揺、幕府の衰退、幕府文化の展開と特色を把握する。 【思】 幕府体制の動揺、幕府の衰退、幕府文化の展開と特色と幕府体制の動揺との関係性を考察し、幕府体制の動揺、幕府の衰退、幕府文化の展開と特色との関係性を考察する。 【記】 歴史資料を適切に活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	○	○	○	10
3 学期	近現代②	第12章 近代国家の成立 ・明治維新 ・立憲君主制の成立	【知】 近代国家の成立、幕府の衰退、幕府文化の展開と特色を把握する。 【思】 近代国家の成立、幕府の衰退、幕府文化の展開と特色と近代国家の成立との関係性を考察し、近代国家の成立、幕府の衰退、幕府文化の展開と特色との関係性を考察する。 【記】 歴史資料を適切に活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1
						合計	140

年間授業計画

高等学校 令和7年度（2学年用）教科 理科 科目 生物基礎

教科：理科 科目：生物基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～3組

教科担当者：（1組：名古屋）（2組：名古屋）（3組：名古屋）

使用教科書：（生物基礎（東京書籍））

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然の事象・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	様々な生物の比較に基づいて、生物は多様でありながら共通性をもっていることを見いだして理解すること。また、生物の共通性と起源の共有を関連付けて理解する。	1編 生物の特徴 生物の特徴	様々な生物の比較に基づいて、生物は多様でありながら共通性をもっていることを見いだして理解すること。また、生物の共通性と起源の共有を関連付けて理解できているか。	○	○	○	6
	生物とエネルギーに関する資料に基づいて、生命活動にエネルギーが必要であることを理解すること。また、光合成や呼吸などの代謝とATPを関連付けて理解する。	1編 生物の特徴 生物とエネルギー	生物とエネルギーに関する資料に基づいて、生命活動にエネルギーが必要であることを理解できているか。また、光合成や呼吸などの代謝とATPを関連付けて理解できているか。	○	○	○	6
				○	○		1
	植生の遷移に関する資料に基づいて、遷移の原因を見出して理解すること。また、植生の遷移をバイオームと関連付けて理解する。	4編 生物の多様性と生態系 植生と遷移	植生の遷移に関する資料に基づいて、遷移の原因を見出して理解できているか。また、植生の遷移をバイオームと関連付けて理解できているか。	○	○	○	6
	①生態系と生物の多様性に関する観察、実験を行い、生態系における生物の種多様性を見出して理解すること。また、生物種多様性と生物間の関係性とを関連付けて理解する。 ②生態系のバランスに関する資料に基づいて、生態系のバランスと人為的攪乱を関連付けて理解すること。また、生態系の保全の重要性を認識する。	4編 生物の多様性と生態系 生態系と生物の多様性	①生態系と生物の多様性に関する観察、実験を行い、生態系における生物の種多様性を見出して理解できているか。また、生物種多様性と生物間の関係性とを関連付けて理解できているか。 ②生態系のバランスに関する資料に基づいて、生態系のバランスと人為的攪乱を関連付けて理解できているか。また、生態系の保全の重要性を認識できているか。	○	○	○	6
期末考査			○	○		1	
2 学 期	DNAの構造に関する資料に基づいて、遺伝情報を担う物質としてのDNAの特徴を見いだして理解するとともに、塩基の相補性とDNAの複製を関連付けて理解する。	2編 遺伝子とそのはたらき 遺伝情報とDNA	DNAの構造に関する資料に基づいて、遺伝情報を担う物質としてのDNAの特徴を見いだして理解するとともに、塩基の相補性とDNAの複製を関連付けて理解できているか。	○	○	○	6
	遺伝情報の発現に関する資料に基づいて、DNAの塩基配列とタンパク質のアミノ酸配列との関係を見いだして理解する。	2編 遺伝子とそのはたらき 遺伝情報とタンパク質	遺伝情報の発現に関する資料に基づいて、DNAの塩基配列とタンパク質のアミノ酸配列との関係を見いだして理解する。	○	○	○	6
				○	○		1
	①体の調節に関する観察、実験などを行い、体内での情報伝達と調節に関係していることを見いだして理解する。 ②体内環境の維持の仕組みに関する資料に基づいて、体内環境の維持とホルモンの働きとの関係を見出して理解する。また、体内環境の維持を自律神経と関連付けて理解する。	3編 ヒトの体と調節 体内環境と情報伝達	①体の調節に関する観察、実験などを行い、体内での情報伝達と調節に関係していることを見いだして理解する。 ②体内環境の維持の仕組みに関する資料に基づいて、体内環境の維持とホルモンの働きとの関係を見出して理解する。また、体内環境の維持を自律神経と関連付けて理解する。	○	○	○	6
	免疫に関する資料に基づいて、異物を排除する防御機構が働いていることを身に出して理解する。	3編 ヒトの体と調節 免疫のはたらき	免疫に関する資料に基づいて、異物を排除する防御機構が働いていることを身に出して理解する。	○	○	○	6
期末考査			○	○		1	
3 学 期	生物や生物現象について、観察、実験などを通して探究し、表現すること。	探究活動	生物や生物現象について、観察、実験などを通して探究し、表現すること。	○	○	○	18
						合計 70	

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和7年度(2学年用) 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションII

教科: 外国語 科目: 英語コミュニケーションII 単位数: 3 単位

対象学年組: 第2学年 1組～3組
 教科担当者: (Aクラス: 村田) (Bクラス: 川口) (Cクラス: 安野) (Dクラス: 大橋)

使用教科書: (教研出版 BIG DIPPER)

- 教科 外国語 の目標:
- 【知識及び技能】 新出単語や熟語を、使用される状況下に応じた適切な訳で読み取り、またそれを用いて表現できる。様々な国の人の発話やレベルが異なる本文を適切に聞き取ったり、読み取ったりすることができる。
 - 【思考力、判断力、表現力等】 広告・評論文・データ情報や物語などを読んで適切な情報を読み取り、整理・要約することができる。またそれに対して自分の意見を表現することができる。
 - 【学びに向かう力、人間性等】 多様な文化の在り方を理解して多様性を受け入れ、真摯に相手の伝えようとする姿勢に向き合い、対話・意見論述等に積極的に参加することができる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
新出単語や熟語を、使用される状況下に応じた訳で読み取ったり、適切に本文を聞き取ったりすることができる。また自分のことや意見などを適切に表現することができる。	広告・評論文・データ情報や物語などを読んで適切な情報を読み取り、整理・要約することができる。またそれに対して自分の意見を表現することができる。	多様な文化の在り方を理解して多様性を受け入れ、真摯に相手の伝えようとする姿勢に向き合い、対話・意見論述等に積極的に参加することができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知 息 息	記 録 数		
		読 書	語 彙	文 法					
1 学期	Lesson1 【知識及び技能】 海外の学校行事について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 学校行事とその目的について意見を表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 学校行事について積極的に表現しようとする。	・指導事項 skimming/scanning comprehension check topic talk ・教材 教科書Big Dipper 一人1台端末	○	○	○	【知識及び技能】 海外の学校行事について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 学校行事とその目的について意見を表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 学校行事について積極的に表現しようとする。	○	○	9
	Lesson2 【知識及び技能】 たまし絵について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 たまし絵アートについて自分の考えを表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 たまし絵について積極的に発話したり、発問に対して発言しようとする。	・指導事項 skimming/scanning comprehension check topic talk ・教材 教科書Big Dipper 一人1台端末	○	○	○	【知識及び技能】 たまし絵について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 たまし絵アートについて自分の考えを表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 たまし絵について積極的に発話したり、発問に対して発言しようとする。	○	○	9
	定期考査					○		1	
	Lesson3 【知識及び技能】 睡眠の大切さについて理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 睡眠の重要性と良い睡眠をとる方法について自分の考えを表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 良い睡眠を取る方法、自身の睡眠の実態について積極的に表現しようとする。	・指導事項 skimming/scanning comprehension check topic talk ・教材 教科書Big Dipper 一人1台端末	○	○	○	【知識及び技能】 睡眠の大切さについて理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 睡眠の重要性と良い睡眠をとる方法について自分の考えを表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 良い睡眠を取る方法、自身の睡眠の実態について積極的に表現しようとする。	○	○	9
2 学期	Lesson4 【知識及び技能】 国際共通語について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 国際共通語について自分の考えを表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 国際共通語について積極的に自分の考えを積極的に伝え合おうとする。	・指導事項 skimming/scanning comprehension check topic talk ・教材 教科書Big Dipper 一人1台端末	○	○	○	【知識及び技能】 国際共通語について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 国際共通語について自分の考えを表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 国際共通語について積極的に自分の考えを積極的に伝え合おうとする。	○	○	10
	定期考査					○		1	
	Lesson5 【知識及び技能】 ユニバーサルデザインについて理解し、情報を整理にまとめることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ユニバーサルデザインについて理解し、自分の考えを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ユニバーサルデザインについて積極的に自分の考えを伝えあう。	・指導事項 skimming/scanning comprehension check topic talk ・教材 教科書Big Dipper 一人1台端末	○	○	○	【知識及び技能】 ユニバーサルデザインについて理解し、情報を整理にまとめることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ユニバーサルデザインについて理解し、自分の考えを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ユニバーサルデザインについて積極的に自分の考えを伝えあう。	○	○	9
	Lesson6 【知識及び技能】 若宮さんの活動について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 若宮さんの活動について自分の考えを表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 若宮さんの活動について積極的に発話したり、発問に対して発言しようとする。	・指導事項 skimming/scanning comprehension check topic talk ・教材 教科書Big Dipper 一人1台端末	○	○	○	【知識及び技能】 若宮さんの活動について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 若宮さんの活動について自分の考えを表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 若宮さんの活動について積極的に発話したり、発問に対して発言しようとする。	○	○	9
3 学期	定期考査					○		1	
	Lesson7 【知識及び技能】 飛行機の開発史について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 飛行機の開発史について、自分の考えを表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 飛行機の開発史について積極的に発話したり、発問に対して発言しようとする。	・指導事項 skimming/scanning comprehension check topic talk ・教材 教科書Big Dipper 一人1台端末	○	○	○	【知識及び技能】 飛行機の開発史について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 飛行機の開発史について、自分の考えを表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 飛行機の開発史について積極的に発話したり、発問に対して発言しようとする。	○	○	9
	Lesson8 【知識及び技能】 保存食について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 保存食について自分の考えを表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 保存食について積極的に発話したり、発問に対して発言しようとする。	・指導事項 skimming/scanning comprehension check topic talk ・教材 教科書Big Dipper 一人1台端末	○	○	○	【知識及び技能】 保存食について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 保存食について自分の考えを表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 保存食について積極的に発話したり、発問に対して発言しようとする。	○	○	10
	定期考査					○		1	
3 学期	Lesson9 【知識及び技能】 シェアリングエコノミーについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 シェアリングエコノミーについて自分の考えを表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 シェアリングエコノミーについて積極的に発話したり、発問に対して発言しようとする。	・指導事項 skimming/scanning comprehension check topic talk ・教材 教科書Big Dipper 一人1台端末	○	○	○	【知識及び技能】 シェアリングエコノミーについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 シェアリングエコノミーについて自分の考えを表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 シェアリングエコノミーについて積極的に発話したり、発問に対して発言しようとする。	○	○	13
	Lesson10 【知識及び技能】 砂の輸入問題について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 砂の輸入問題について自分の考えを表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 砂の輸入問題について積極的に発話したり、発問に対して発言しようとする。	・指導事項 skimming/scanning comprehension check topic talk ・教材 教科書Big Dipper 一人1台端末	○	○	○	【知識及び技能】 砂の輸入問題について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 砂の輸入問題について自分の考えを表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 砂の輸入問題について積極的に発話したり、発問に対して発言しようとする。	○	○	13
定期考査					○		1		

年間授業計画 新様式例
高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 外国語 科目 論理表現Ⅱ

教科：外国語 科目：論理表現Ⅱ 単位数：2 単位
 対象学年級：第2学年 1組～3組
 教科担当：(Aクラス：大橋) (Bクラス：安野)
 使用教科書：(いづな書店 Harmony English Logic and ExpressionⅡ)
 教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】 発展的な新単語や熟語を、使用される状況下に応じた適切な訳で読み取り、またそれを用いて表現できること。種や国籍の人の発音やスベールが混在する本文を適切に聞き取り、読み取りたりすることが出来る。

【思考力、判断力、表現力等】 発展的な内容の広告・評論文、データ情報や物語などを鑑みて適切な情報を読み取り、整理・要約することができる。またそれに対して自分の意見を表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】 多様な文化の在り方を理解して多様性を受け入れ、相手の伝えようとする姿勢に真摯に向き合い、対話・意見交換に積極的に参加することができる。

科目 論理表現Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
発展的な英文を読んで3000の文脈を分析する。発音・発音記号などの状況を選択的に判断することができる。またそれに対して自分の意見を適切に表現することができる。またそれに対して自分の意見を適切に表現することができる。	発展的な英文を読んで11の把握、判断、評価、要約などを行うことができる。また、求められた情報を適切に読み取ることができ、さらに自分の意見を適切に表現することができる。	発展的な英文を鑑賞することによって、多様な文化の在り方を理解し、多様性を受け入れ、相手の伝えようとする姿勢に真摯に向き合い、対話・意見交換に積極的に参加することができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価標準	知	意	能	
		語	文	文	書					
1 学期 1 定期考査	Lesson5 【知識及び技能】 聴取表現に基づいて、適切に訳したり、自分の考えを表現したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 発音記号や発音の状況が、また、発音記号から発音を推察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の授業や過去の授業を積極的に振り返る。	・指導事項 現在・過去・未来 自己表現 topic talk 教材 教科書Harmony 聴取グループブック 一人1台端末	○	○	○	○	○	○	○	6
	Lesson6 【知識及び技能】 聴取表現に基づいて、適切に訳したり、自分の考えを表現したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 発音記号や発音の状況が、また、発音記号から発音を推察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の授業や過去の授業を積極的に振り返る。	・指導事項 現在・過去・未来 自己表現 topic talk 教材 教科書Harmony 聴取グループブック 一人1台端末	○	○	○	○	○	○	○	6
	Lesson7 【知識及び技能】 聴取表現に基づいて、適切に訳したり、自分の考えを表現したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 発音記号や発音の状況が、また、発音記号から発音を推察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の授業や過去の授業を積極的に振り返る。	・指導事項 現在・過去・未来 自己表現 topic talk 教材 教科書Harmony 聴取グループブック 一人1台端末	○	○	○	○	○	○	○	6
	Lesson8 【知識及び技能】 聴取表現に基づいて、適切に訳したり、自分の考えを表現したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 発音記号や発音の状況が、また、発音記号から発音を推察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の授業や過去の授業を積極的に振り返る。	・指導事項 現在・過去・未来 自己表現 topic talk 教材 教科書Harmony 聴取グループブック 一人1台端末	○	○	○	○	○	○	○	6
2 学期 1 定期考査	Lesson9 【知識及び技能】 聴取表現に基づいて、適切に訳したり、自分の考えを表現したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 発音記号や発音の状況が、また、発音記号から発音を推察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の授業や過去の授業を積極的に振り返る。	・指導事項 現在・過去・未来 自己表現 topic talk 教材 教科書Harmony 聴取グループブック 一人1台端末	○	○	○	○	○	○	○	6
	Lesson10 【知識及び技能】 聴取表現に基づいて、適切に訳したり、自分の考えを表現したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 発音記号や発音の状況が、また、発音記号から発音を推察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の授業や過去の授業を積極的に振り返る。	・指導事項 現在・過去・未来 自己表現 topic talk 教材 教科書Harmony 聴取グループブック 一人1台端末	○	○	○	○	○	○	○	6
	Lesson11 【知識及び技能】 聴取表現に基づいて、適切に訳したり、自分の考えを表現したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 発音記号や発音の状況が、また、発音記号から発音を推察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の授業や過去の授業を積極的に振り返る。	・指導事項 現在・過去・未来 自己表現 topic talk 教材 教科書Harmony 聴取グループブック 一人1台端末	○	○	○	○	○	○	○	6
	Lesson12 【知識及び技能】 聴取表現に基づいて、適切に訳したり、自分の考えを表現したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 発音記号や発音の状況が、また、発音記号から発音を推察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の授業や過去の授業を積極的に振り返る。	・指導事項 現在・過去・未来 自己表現 topic talk 教材 教科書Harmony 聴取グループブック 一人1台端末	○	○	○	○	○	○	○	6
3 学期 1 定期考査	Lesson13 【知識及び技能】 聴取表現に基づいて、適切に訳したり、自分の考えを表現したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 発音記号や発音の状況が、また、発音記号から発音を推察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の授業や過去の授業を積極的に振り返る。	・指導事項 現在・過去・未来 自己表現 topic talk 教材 教科書Harmony 聴取グループブック 一人1台端末	○	○	○	○	○	○	○	6
	Lesson14 【知識及び技能】 聴取表現に基づいて、適切に訳したり、自分の考えを表現したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 発音記号や発音の状況が、また、発音記号から発音を推察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の授業や過去の授業を積極的に振り返る。	・指導事項 現在・過去・未来 自己表現 topic talk 教材 教科書Harmony 聴取グループブック 一人1台端末	○	○	○	○	○	○	○	6
	Lesson15 【知識及び技能】 聴取表現に基づいて、適切に訳したり、自分の考えを表現したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 発音記号や発音の状況が、また、発音記号から発音を推察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の授業や過去の授業を積極的に振り返る。	・指導事項 現在・過去・未来 自己表現 topic talk 教材 教科書Harmony 聴取グループブック 一人1台端末	○	○	○	○	○	○	○	6
	Lesson16 【知識及び技能】 聴取表現に基づいて、適切に訳したり、自分の考えを表現したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 発音記号や発音の状況が、また、発音記号から発音を推察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の授業や過去の授業を積極的に振り返る。	・指導事項 現在・過去・未来 自己表現 topic talk 教材 教科書Harmony 聴取グループブック 一人1台端末	○	○	○	○	○	○	○	6
2 定期考査	Lesson17 【知識及び技能】 聴取表現に基づいて、適切に訳したり、自分の考えを表現したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 発音記号や発音の状況が、また、発音記号から発音を推察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の授業や過去の授業を積極的に振り返る。	・指導事項 現在・過去・未来 自己表現 topic talk 教材 教科書Harmony 聴取グループブック 一人1台端末	○	○	○	○	○	○	○	6
3 定期考査	Lesson18 【知識及び技能】 聴取表現に基づいて、適切に訳したり、自分の考えを表現したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 発音記号や発音の状況が、また、発音記号から発音を推察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の授業や過去の授業を積極的に振り返る。	・指導事項 現在・過去・未来 自己表現 topic talk 教材 教科書Harmony 聴取グループブック 一人1台端末	○	○	○	○	○	○	○	6

年間授業計画

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 農業 科目 植物バイオテクノロジー

教科： 農業 科目： 植物バイオテクノロジー 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組

教科担当者： 土屋

使用教科書： （ 実教出版「草花」 ）

教科 農業 の目標：

【知識及び技能】 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 植物バイオテクノロジー の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
植物バイオテクノロジーについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識・技術を身に付けるようにする。	植物バイオテクノロジーに関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	植物バイオテクノロジーについて基礎的な知識と技術を実際に活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数		
<ul style="list-style-type: none"> ・バイオテクノロジーに興味関心を持つ。 ・植物バイオテクノロジーについて科学的に捉え、主体的に学ぶ意欲と態度を身につける。 ・植物バイオテクノロジーとそれらの生育環境を多面的・科学的に考察し、諸課題を整理し、解決に向けた具体的な取組を考え、発表により表現できる。 ・無菌操作の特性や生育環境・管理に関する基礎的な知識を身につけるとともに、技術の仕組みを理解する。 	施設案内、身の回りの菌培養 植物バイオテクノロジーについて器具の名称、取り扱い、殺菌・滅菌無菌操作「無菌播種」 コンタミネーションについて培地について	【知識及び技能】 植物バイオテクノロジーについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識・技術を身に付いた 【思考力、判断力、表現力等】 植物バイオテクノロジーに関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決できる 【学びに向かう力、人間性等】 植物バイオテクノロジーについて基礎的な知識と技術を実際に活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働に取り組める	○	○	○	25		
			定期考査		○	○		1
<ul style="list-style-type: none"> ・バイオテクノロジーに興味関心を持つ。 ・植物バイオテクノロジーについて科学的に捉え、主体的に学ぶ意欲と態度を身につける。 ・植物バイオテクノロジーとそれらの生育環境を多面的・科学的に考察し、諸課題を整理し、解決に向けた具体的な取組を考え、発表により表現できる。 ・無菌操作の特性や生育環境・管理に関する基礎的な知識を身につけるとともに、技術の仕組みを理解する。 	任意の細胞片培養実験 組織培養とは分化全能性 分化と脱分化 植物ホルモンについてペーパージュレッド培地について キクの花弁培養の目的について パーミキュライト順化 ニンジン肥大根培養 コルクボーラーの使用方法 ウイルスフリー苗	【知識及び技能】 植物バイオテクノロジーについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識・技術を身に付いた 【思考力、判断力、表現力等】 植物バイオテクノロジーに関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決できる 【学びに向かう力、人間性等】 植物バイオテクノロジーについて基礎的な知識と技術を実際に活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働に取り組める	○	○	○	25		
			定期考査		○	○		1
<ul style="list-style-type: none"> ・バイオテクノロジーに興味関心を持つ。 ・植物バイオテクノロジーについて科学的に捉え、主体的に学ぶ意欲と態度を身につける。 ・植物バイオテクノロジーとそれらの生育環境を多面的・科学的に考察し、諸課題を整理し、解決に向けた具体的な取組を考え、発表により表現できる。 ・無菌操作の特性や生育環境・管理に関する基礎的な知識を身につけるとともに、技術の仕組みを理解する。 	2学期の復習 カーネーションの茎頂培養 任意の茎頂培養 自分で選んだ植物の培養 遺伝子組み換え	【知識及び技能】 植物バイオテクノロジーについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識・技術を身に付いた 【思考力、判断力、表現力等】 植物バイオテクノロジーに関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決できる 【学びに向かう力、人間性等】 植物バイオテクノロジーについて基礎的な知識と技術を実際に活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働に取り組める	○	○	○	17		
			定期考査		○	○		1
								合計
						70		

高等学校 令和7年度（2学年用）教科 農業 科目 畜産

教科：農業 科目：畜産 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組

教科担当者：（梅田）

使用教科書：（実教出版「畜産」）

教科 農業 の目標：

【知識及び技能】 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身に付けようとする。

【思考力、判断力、表現力等】 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえて合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 畜産 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
家畜の特性や飼育環境、産業動物としての役割についての知識を身に付けるとともに、各家畜に適した飼育管理技術を理解する。また、家畜および畜産物の利用方法を身に付ける。	家畜の発達と生理・生態の特徴と飼育環境および飼育技術の関わりを多面的に考察、飼育に及ぼす影響等を適切に判断する。また、今後の畜産の発展と地球環境とのかわり等について判断する能力を身に付ける。	家畜の飼育技術の仕組みや家畜生産の役割など家畜の飼育と経営に興味・関心をもち、家畜と飼育環境の相互関係から飼育技術を総合的・体系的に理解する意欲と態度を身に付ける。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
・日本の畜産について、その特徴を理解するとともに、畜産のもつさまざまな役割について理解する。 ・家畜の生理・生態と飼育環境について理解するとともに、家畜排せつ物の有効活用を図ることの重要性を理解する。 ・家畜に対する適正な飼料給与等について理解するとともに、未利用資源の活用や自給飼料生産の重要性等について理解する。	第1章 日本の畜産の特徴と役割 1.日本の畜産の特徴 2.日本における畜産物の需給と動向 3.畜産の役割 4.科学の発展と畜産への活用 第2章 家畜の生理・生態と飼育環境 1.家畜の生理・生態 2.飼育環境の調節 3.家畜排せつ物の処理と利用 第3章 家畜と飼料 1.家畜の栄養と栄養素 2.家畜の消化器官と消化・吸収 3.飼料の特性と給与 4.飼料作物の特徴と草地の管理	【知識・技能】 ・日本の畜産の特徴について理解するとともに畜産のもつ重要な役割について及び今後の我が国の畜産のあり方等を理解している。 ・適切な家畜の生理・生態と飼育環境及び飼育環境の改善について理解している。 ・家畜に必要な栄養と栄養素を理解するとともに適切な給与法について理解している。 【思考・判断・表現】 ・現状を踏まえた畜産の重要な役割や今後の我が国の畜産のあり方について表現することができる。 ・適切な家畜の生理・生態と飼育環境について理解し、飼育環境の改善を行うことができる。 ・家畜に必要な栄養と栄養素を理解するとともに適切な給与ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度及び実習態度 ・学んだ知識や技能を畜産経営の技術改善につなげようとしている。	○	○	○	24
	定期考査			○	○	
・各家畜の形態や習性の特性を理解し、生理・生態の特徴を把握する。 ・各家畜にあわせた合理的な飼育管理や飼育環境を理解する。 ・各家畜の飼養管理と生産性、生産物の品質向上についての理解をする。	第4章 家畜の飼育 1.養鶏 2.養豚 3.酪農 4.肉用牛 5.特用家畜	【知識・技能】 ・各家畜の形態や習性の特徴等について理解するとともに生理・生態にあわせた飼養管理について理解している。 【思考・判断・表現】 ・各家畜の適切な家畜の生理・生態と飼育環境について理解し、飼育環境の改善を行うことができる。 ・家畜の生産性や生産物の品質向上の方策について理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度及び実習態度 ・学んだ知識や技能を畜産経営の技術改善につなげようとしている。	○	○	○	24
	定期考査			○	○	
・畜産経営を持続・発展させるために畜産経営の収益構造を理解するとともに、市場における価格形成を把握する。 ・畜産経営における技術成績と収益の関連性を理解し、経営改善のあり方を理解する。	第5章 畜産経営の改善 1.畜産経営の基礎 2.畜産経営の改善 第6章 畜産経営の実践 1.実践事例の研究 年間学習のまとめ	【知識・技能】 ・畜産経営を持続・発展させるために畜産経営の収益構造を理解している。市場における価格形成について理解している。 ・畜産経営における技術成績と収益の関連性及び経営改善のあり方を理解している。 【思考・判断・表現】 ・畜産経営における技術成績と収益の関連性及び経営改善のあり方を踏まえた経営改善計画の方向性を明らかにすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度及び実習態度 ・学んだ知識や技能を畜産経営の技術改善につなげようとしている。	○	○	○	16
	定期考査・まとめ			○	○	

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和7年度（2学年用）教科 農業 科目 野菜

教科：農業

科目：野菜

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組

教科担当者：（木村）

使用教科書：（実教出版「野菜」 ※新教育課程のものがまだ発行されていないので旧課程のものを使用）

教科 農業

の目標：

【知識及び技能】 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 野菜

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
学習を通して野菜栽培の基本的な事柄について正しく理解し、知識を身に付ける。また目的に即した技能を習得する。	栽培や学習した事柄を総合的に考え、学んだことを元にして、分析したり、論理的、科学的に考える確に表現する力を身に付ける。	学習内容に対して興味・関心を持ち理解しようとすると共に問題点を提起し探究しようとするなど、学習に意欲的に取り組む力を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> 夏野菜の栽培について、専門的な知識と技術を習得させる。 夏野菜の栽培に関する課題に興味をもち、解決するための力を身に付けさせる。 主体的・協働的に学習活動に取り組み自分の意見を持つとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 夏野菜の栽培 果菜類の栽培 根菜類の栽培 野菜生産の役割と動向 	<p>【知識及び技能】</p> 夏野菜の栽培について、専門的な知識と技術を理解・習得し活用しようとしている。					
	定期考査			○	○	○	2	
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> 秋冬野菜の栽培について、専門的な知識と技術を習得させる。 秋冬野菜の栽培に関する課題に興味をもち、解決するための力を身に付けさせる。 主体的・協働的に学習活動に取り組み自分の意見を持つとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 秋冬野菜の栽培 葉菜類の栽培 根菜類の栽培 野菜の流通と経営改善 	<p>【知識及び技能】</p> 秋冬野菜の栽培について、専門的な知識と技術を理解・習得し活用しようとしている。					
	定期考査			○	○	○	2	
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> 野菜の栽培環境と生育調整について、専門的な知識と技術を習得させる。 野菜の栽培環境と生育調整に関する課題に興味をもち、解決するための力を身に付けさせる。 主体的・協働的に学習活動に取り組み自分の意見を持つとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 野菜の栽培環境と生育調整 野菜の生育特性と栽培環境の調節技術 野菜の育苗 根菜類の栽培 	<p>【知識及び技能】</p> 野菜の栽培環境と生育調整について、専門的な知識と技術を理解・習得し活用しようとしている。					
	定期考査			○	○	○	2	
							合計	70

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 農業 科目 農業と情報

教科： 農業 科目： 農業と情報 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組

教科担当者： (木村)

使用教科書： (実教出版「農業と情報」)

教科 農業 の目標：

【知識及び技能】 農業に関する情報について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 農業情報の活用に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 農業に関する情報について主体的に調査・分析・活用ができるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 農業と情報 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
学校での学習や実習、産業現場での実習を通して、農業に関する情報等をその目的や条件に合わせて活用できる知識と技術を体系的・系統的に理解している。	農業情報の活用について、環境への配慮や法令遵守などの職業人に求められる倫理観をもって思考を深め、科学的な根拠などに基づいて創造的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	農業情報を活用した事例をもとに、環境保全や農林業の持続的発展に果たす意義や役割に関心をもちながら、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・私たちの生活のなかには、情報を活用したさまざまな技術が生かされている。それらの個々の技術に目を向けたとともに、農業にどのように活用されているか、情報化社会におけるモラルとセキュリティの重要性、身に付けた技術をどのように活用するか、などを理解する。	第1章 私たちの生活と農業の情報化 1 情報社会における私たちの生活 2 情報とメディア 3 情報社会とモラル 4 農業を支える情報 第2章 社会を支えるコンピュータ 1 コンピュータのしくみ 2 データや情報の表現	【知識・技能】 情報社会のしくみや農業各分野の情報化、農業の発展に関する知識を理解し、適切に情報を収集、選択して活用している。 情報社会における個人の責任とセキュリティ管理に関する知識を理解し、情報モラルと情報セキュリティ管理に関する資料や情報を収集し、適切に選択し活用している。 【思考・判断・表現】 情報社会のしくみや農業各分野の情報化、農業の発展に関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的な知識と技術を合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 情報モラルと情報セキュリティ管理に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術をもとに合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報社会のしくみや農業各分野の情報化に関心をもち、農業の情報化や農業の発展に関する課題や活用について探求しようとしている。 情報モラルと情報セキュリティ管理に関心をもち、プライバシーやその他の権利に関する課題について探求しようとしている。	○	○	○	24
	定期考査			○	○		2
2 学 期	・さまざまなアプリケーションソフトウェアの演習を通して、実際の情報処理の過程を理解するとともに、自分で活用できるように基本的な技術を身に付ける。また、問題解決の過程やアイデアや気づきを引き出す思考技術を理解する。	第3章 コミュニケーションと情報デザイン 1 情報表現のためのソフトウェア 2 文書の作成と表現 3 データの集計と視覚化	【知識・技能】 農業各分野で情報を処理・活用するためのソフトウェア、OSの役割とはたらき、ハードウェアとソフトウェアの相互関係を理解し、情報の収集・分析・統合・加工・発信について適切に選択し活用している。 【思考・判断・表現】 農業各分野で情報を処理・活用する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的な知識と技術をもとに合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 農業各分野で情報を処理・活用するためのソフトウェア、OSの役割とはたらき、ハードウェアとソフトウェアの相互関係に関心をもち、情報の収集・分析・統合・加工・発信に関する課題や活用について探求しようとしている。	○	○	○	24
	定期考査			○	○		2
3 学 期	・さまざまなアプリケーションソフトウェアの演習を通して、実際の情報処理の過程を理解するとともに、自分で活用できるように基本的な技術を身に付ける。また、問題解決の過程やアイデアや気づきを引き出す思考技術を理解する。	第3章 コミュニケーションと情報デザイン 5 画像・図形処理ソフトウェアの利用 6 プレゼンテーション	【知識・技能】 農業各分野で情報を処理・活用するためのソフトウェア、OSの役割とはたらき、ハードウェアとソフトウェアの相互関係を理解し、情報の収集・分析・統合・加工・発信について適切に選択し活用している。 【思考・判断・表現】 農業各分野で情報を処理・活用する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的な知識と技術をもとに合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 農業各分野で情報を処理・活用するためのソフトウェア、OSの役割とはたらき、ハードウェアとソフトウェアの相互関係に関心をもち、情報の収集・分析・統合・加工・発信に関する課題や活用について探求しようとしている。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1 合計 70

年間授業計画 概式例

高等学校 令和7年度(2学年用) 教科 家庭 科目 保育基礎

教科 家庭 単位数 2 単位
 対象学年級 第 2 学年 1 組～ 組
 教科用図書 (1) 教科書 ()
 使用教科書: (1) 教科書 / 実教出版

【知 識 及 び 技 能】 人間の営む様々な発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、役割、家庭と社会との関わり方について理解を深め、家族・家庭、役割、責任、役割や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を深めるとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
 【思考力、判断力、表現力等】 読書を通して、学習したことを探求し、表現するなど、生活を豊かに営むための課題を解決する力を養う。
 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に貢献しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 保育基礎	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	保育の意義や方法、子供の発達や生活の特徴及び子供の発達と文化などについて体系的、総合的に理解することにより、関連する技術を身に付けるようにする。	子供を取り巻く課題を養育し、保育を行う意義、子供の健全な発達を目指す力を養い、合理的かつ創造的に解決する力を養う。	主体的にかつ協働的に取り組む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価標準	知	徳	体	記述評数
・保育の意義と重要性について、幼稚園教育要領や保育所保育指針に基づき、保育の意義、保育者の役割、保育環境の形成などについて理解を深め、保育者の役割について理解を深める。	1 保育の意義 2 保育者の役割 3 保育環境の形成	・保育者の役割を理解し、その役割や能力を身に付けるにはどのような点に気を付けていけばよいかなど、考察ができる。	○	○	○	2
・保育者にはどのような資力が求められるか、またその資力を身に付けるにはどのような方法があるかを理解する。	1 保育者の資力 2 保育者の役割と資力 3 保育者の資力を身に付ける方法	発達段階の特性を考慮した保育の工夫が必要であることを理解している。	○	○	○	2
・家庭での保育の現状や、幼児教育・保育の重要性(幼稚園教育要領、認定こども園など)の保育環境の特徴や役割を理解する。	1 家庭での保育 2 幼児教育・保育の場 3 子どもが育つ環境の変化と課題	・子どもを取り巻く環境が子どもの発達に与える影響を理解し、発達段階における発達課題に応じて、授け方・援助の仕方・適切な保育環境の構築について定めている。	○	○	○	2
・誕生～乳児期・幼児期の発達の過程を、それぞれの月齢・年齢ごとの発達から子どもの発達を理解する。	1 誕生～乳児期の発達 2 幼児期の発達 3 幼児期の発達と保育	・それぞれの月齢・年齢ごとの発達の、生理的特徴に留意し、保育に関連づけて考察することができる。	○	○	○	2
・乳幼児期は人の発達・発達において大切な時期であり、発達や個性に合わせた保育を行うことが必要であることを理解する。	1 誕生～乳児期の発達 2 幼児期の発達 3 幼児期の発達と保育	・胎児の発達段階である胎児に対する関心と理解を深め、発達段階の発達と生理的特徴及びその変化に関する知識を身に付けている。	○	○	○	2
・乳幼児期の身体的特徴と生理的特徴を、誕生～乳児期・幼児期を通じて理解する。	1 誕生～乳児期の発達 2 幼児期の発達 3 幼児期の発達と保育	・誕生から幼児期までの子どもの身体発達、運動機能、認知機能などそれぞれの発達の特性について理解している。	○	○	○	4
・心の発達の特徴として大切な家庭環境の形成と人間関係の形成について理解する。	1 誕生～乳児期の発達 2 幼児期の発達 3 幼児期の発達と保育	・子どもの心の発達の特徴と発達の特徴について理解し、発達段階の発達と生理的特徴及びその変化に関する知識を身に付けている。	○	○	○	4
・子どもが心身の健康を保つための保育の重要性を理解し、誕生～乳児期・幼児期の発達や生活の実践を通して理解する。	1 誕生～乳児期の発達 2 幼児期の発達 3 幼児期の発達と保育	・子どもの生活に関心をもち、主体的に子どもの発達を理解しようとしている。 ・子どもの発達や生活について子どもの発達や生活を支える保育の基礎的な技術を身に付けている。	○	○	○	4
・誕生～乳児期・幼児期の発達や生活の実践を通して理解する。	1 誕生～乳児期の発達 2 幼児期の発達 3 幼児期の発達と保育	・誕生～乳児期・幼児期の発達や生活の実践を通して理解する。	○	○	○	3
・誕生～乳児期・幼児期の発達や生活の実践を通して理解する。	1 誕生～乳児期の発達 2 幼児期の発達 3 幼児期の発達と保育	・誕生～乳児期・幼児期の発達や生活の実践を通して理解する。	○	○	○	2
・誕生～乳児期・幼児期の発達や生活の実践を通して理解する。	1 誕生～乳児期の発達 2 幼児期の発達 3 幼児期の発達と保育	・誕生～乳児期・幼児期の発達や生活の実践を通して理解する。	○	○	○	4
・誕生～乳児期・幼児期の発達や生活の実践を通して理解する。	1 誕生～乳児期の発達 2 幼児期の発達 3 幼児期の発達と保育	・誕生～乳児期・幼児期の発達や生活の実践を通して理解する。	○	○	○	4
・誕生～乳児期・幼児期の発達や生活の実践を通して理解する。	1 誕生～乳児期の発達 2 幼児期の発達 3 幼児期の発達と保育	・誕生～乳児期・幼児期の発達や生活の実践を通して理解する。	○	○	○	4
・誕生～乳児期・幼児期の発達や生活の実践を通して理解する。	1 誕生～乳児期の発達 2 幼児期の発達 3 幼児期の発達と保育	・誕生～乳児期・幼児期の発達や生活の実践を通して理解する。	○	○	○	4
・誕生～乳児期・幼児期の発達や生活の実践を通して理解する。	1 誕生～乳児期の発達 2 幼児期の発達 3 幼児期の発達と保育	・誕生～乳児期・幼児期の発達や生活の実践を通して理解する。	○	○	○	9
・誕生～乳児期・幼児期の発達や生活の実践を通して理解する。	1 誕生～乳児期の発達 2 幼児期の発達 3 幼児期の発達と保育	・誕生～乳児期・幼児期の発達や生活の実践を通して理解する。	○	○	○	4
・誕生～乳児期・幼児期の発達や生活の実践を通して理解する。	1 誕生～乳児期の発達 2 幼児期の発達 3 幼児期の発達と保育	・誕生～乳児期・幼児期の発達や生活の実践を通して理解する。	○	○	○	6
・誕生～乳児期・幼児期の発達や生活の実践を通して理解する。	1 誕生～乳児期の発達 2 幼児期の発達 3 幼児期の発達と保育	・誕生～乳児期・幼児期の発達や生活の実践を通して理解する。	○	○	○	3
・誕生～乳児期・幼児期の発達や生活の実践を通して理解する。	1 誕生～乳児期の発達 2 幼児期の発達 3 幼児期の発達と保育	・誕生～乳児期・幼児期の発達や生活の実践を通して理解する。	○	○	○	4
・誕生～乳児期・幼児期の発達や生活の実践を通して理解する。	1 誕生～乳児期の発達 2 幼児期の発達 3 幼児期の発達と保育	・誕生～乳児期・幼児期の発達や生活の実践を通して理解する。	○	○	○	1

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和7年度（2学年用）教科 家庭科 科目 家庭基礎

教科：家庭科 科目：家庭基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 2組～3組

教科担当者：（2組：金澤）（3組：金澤）

使用教科書：未来につなぐ家庭基礎365（教育図書）

教科 家庭科 の目標：

【知識及び技能】 人間の生活にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、生活を主体的に営むために必要な理解を園とともに、それらにかかる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出し課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生活を見通して生活の課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 家庭基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識・技能を身につけている。	人の一生と家族、家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて課題を見出し、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心を持ち、その充実に目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
自己理解を深めるとともに青年期の発達課題を理解し、将来の見通しを立てる。	・青年期の自立と家族・家庭	【知識・技能】 青年期の課題を理解し、自分が家庭を取り巻く社会を理解している。 【思考・判断・表現】 自己理解を他者に伝えることができる。自己の生き方について考え、発表することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分らしい生き方について考え行動しようとしている。	○	○	○	9
・子どもの心身の発達を理解し、子どもを産み育てることの意義を理解する。 ・子どもを育てる環境について考え表現できる。	・子どもの生活と保育	【知識・技能】 子どもの心身の発達を理解し、子どもを産み育てることの意義を理解している。 【思考・判断・表現】 子どもを育てる環境を考え表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 子どもの発達と子どもを取り巻く環境に関心を持っている。	○	○	○	9
1 学 期 ・生涯発達を理解し、高齢者との適切なかわり方を習得する。 ・高齢化や福祉サービスの状況など超高齢社会について考えを深める。	・高齢期の生活と福祉	【知識・技能】 生涯発達を理解し、高齢者との適切なかわり方を習得している。 【思考・判断・表現】 超高齢社会について考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 高齢者を肯定的にとらえ関心を深めている。	○	○	○	5
・家庭や地域における共生、共同、福祉が果たす役割について理解し、地域活動やボランティアに関心をもち、 ・障がい者への簡単な介助方法を習得する。	・共生社会と福祉	【知識・技能】 家庭や地域における共生、共同、福祉が果たす役割について理解している。 【思考・判断・表現】 共生のために自分ができることを考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 地域活動やボランティアに関心を高めている。	○	○	○	2
定期考査			○	○		1
・被服の機能や手入れや保存について理解する。 ・被服が関わる安全や環境について考えを深め、実生活に活かす。	・衣生活と健康	【知識・技能】 被服の機能や手入れや保存について理解している。被服製作の技術を習得している。 【思考・判断・表現】 被服が関わる安全や環境について考えを深め、実生活に活かすことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 被服生活に対し意欲的に考えている。	○	○	○	9
・住まいの機能について理解する。平面図を読み取ることができる。 ・住まいと暮らし方について考えを深めている。	・住生活と住環境	【知識・技能】 住まいの機能について理解している。平面図を読み取ることができる。 【思考・判断・表現】 住まいと暮らし方の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 安心して住める住環境について意欲的に考えようとしている。	○	○	○	4
・栄養素の種類と機能、主な食品について理解する。 ・食事摂取基準のめやすに合わせて献立作成ができる。	・食生活と健康	【知識・技能】 栄養素の種類と機能、主な食品について理解している。 【思考・判断・表現】 食事摂取基準のめやすに合わせて献立作成ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 実習等に意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	12
定期考査			○	○		1
・消費者問題や家計の管理を理解している。 ・消費者問題への対処や責任ある消費者の行動について考えを深める。	・消費生活と意思決定	【知識・技能】 消費者問題や家計の管理を理解している。 【思考・判断・表現】 消費者問題への対処や責任ある消費者の行動について考えを深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 消費者問題や消費者行動を自分のこととして考えようとしている。	○	○	○	9
・消費行動が環境に与えた影響やグリーンコンシューマーの必要性を理解する。 ・持続可能な社会を実現するための提案を考える。	・持続可能なライフスタイルと環境	【知識・技能】 消費行動が環境に与えた影響やグリーンコンシューマーの必要性を理解している。 【思考・判断・表現】 持続可能な社会の実現の提案を考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 環境負荷の少ない生活の実践について考えようとしている。	○	○	○	8
定期考査						1
						合計
						70

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 商業 科目 簿記

教科：商業 科目：簿記 単位数：4 単位

対象学年組：第2学年 2組～3組

教科担当者：（野村）

使用教科書：（7実教 708 高校簿記）

教科 商業 の目標：

【知識及び技能】簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う

【学びに向かう力、人間性等】企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

科目 簿記 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う	企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 感			配当 時数	
			知	思	感		
1 学 期	・簿記の意味・目的・成り立ちなどを理解させ、学習の心構えを養う。これから学ぶ簿記は複式簿記であり、商業簿記であることを知らせる。簿記の歴史にふれ、これから学ぶ簿記の前提条件について理解させる	簿記の基礎 第1章 企業の簿記 第2章 簿記の要素 第3章 取引と勘定	・簿記を学ぶことの意義と必要性を考えたか。 ・企業の簿記の意義と役割を知り、簿記の学習に興味を示し、学習しようとする態度がみられたか。 ・簿記の要素と貸借対照表・損益計算書の構造や役割、簿記一巡の手続きなど、簿記の仕組みを理解したか。	○	○	○	10
	・簿記上の取引の意味を理解させる。勘定・勘定科目・勘定口座の意味、勘定の種類を知らせる。勘定記入法については十分理解させる。取引要素の結合関係を理解させる。	第4章 仕訳と転記 第5章 仕訳帳と総勘定元帳 第6章 試算表 第7章 決算	・簿記上の取引の意味を理解しているか。 ・仕訳の意味を理解しているか。 ・貸借対照表や損益計算書の作成を考え、適切に作成できたか。 ・精算表の作成について関心を高め、作成法を習熟しようとしたか。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	・現金・当座預金・その他の預金の意味を理解させ、その記帳法を習得させる。 ・3分法による商品売買の記帳法を理解させる。	取引の記帳と決算Ⅰ 第8章 現金・預金の記帳 第9章 商品売買の記帳	・現金・預金の取引に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。 ・商品売買の取引に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。	○	○	○	12
	・売掛金元帳と買掛金元帳の必要性と記帳法を理解させる。 ・固定資産の種類とその取得についての記帳法を理解させる。 ・決算整理の意味とその必要性について理解させる。	第10章 掛け取引の記帳 第11章 固定資産の記帳 第12章 決算（その1）	・掛け取引の記帳に関して、自ら考えを深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけたか。 ・固定資産の取引に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	・約束手形と為替手形の違いを理解させ、これらの手形の授受に伴う記帳法を習得させる。 ・貸付金と借入金、前払金と前受金、未収入金と未払金の各勘定の意味を理解させ、記帳法を習得させる。	取引の記帳と決算Ⅱ 第13章 手形取引の記帳 第14章 その他の債権・債務の記帳 第15章 販売費及び一般管理費の記帳 第16章 資本金の記帳 第17章 決算（その2）	・手形の取引に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。その他の債権・債務の取引等に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。資本金の取引等に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。	○	○	○	23
	定期考査			○	○		1
	・帳簿の種類と、帳簿組織およびそれらと分課制度との関係、帳簿組織の立案について理解させる。 ・伝票のはたらきとその種類を理解させる。仕訳伝票による取引の記帳法を理解させる。3伝票制による取引の記帳法および集計と転記について理解させる。	帳簿・伝票と記帳の効率化 第18章 帳簿 第19章 仕訳伝票と3伝票制 取引の記帳と決算Ⅲ 第21章 有価証券とその他の手形取引の記帳 第22章 決算（その3）	・ビジネスの諸活動について、記帳にどの帳簿または伝票を用いてよいかの判断ができ、適切に表現できるか。入金取引・出金取引・その他の取引にどの伝票を用いるかの判断を通じて、記帳の合理化を考へることができるか。損益計算書と貸借対照表の作成法を理解し、作成することができるか。	○	○	○	27
	定期考査			○	○		1
3 学 期	・支店会計の意味を理解させ、本支店間および支店相互間の取引の記帳法を習得させる。 ・本支店の貸借対照表と損益計算書の合併の意味とし、その手続きおよび作成法について習得させる。	本支店の会計 第23章 支店の取引 第24章 本支店の財務諸表の合併 株式会社の記帳 第25章 設立と開業の記帳	・本支店間の取引、支店相互間の取引などに関する基本的な内容を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。株式会社の設立と開業について、その記帳処理の学習を積極的に進めようとしているか。	○	○	○	17
	・剰余金の処分とその記帳法を理解させる。 ・株式会社に課せられる税金のおもな種類を理解させる。	第26章 剰余金の処分に関する記帳 第27章 株式会社の税金の記帳	・剰余金の処分について、その記帳について自らの思考を深め、適切に判断しているか。株式会社の税金の記帳法について、基本的な内容を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1
合計						140	

